講座 №１６１５１

こころの臨床・夜間講座１

２１世紀の精神医学とパーソナリティ障害

**主　　催**：公益財団法人　明治安田こころの健康財団

**企画講師**：牛島　定信　先生 （三田精神療法研究所所長）

**講座日程**：全５回

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 回 | 開催日 | 講 義 内 容 （予定） | 講 師 （敬称略） |
| １ | ６/8（水） | 今日の臨床現場におけるパーソナリティ　障害の意義 | 三田精神療法研究所所長  牛島　定信 |
| ２ | 6/15（水） | 境界性パーソナリティ障害は今 | 帝京大学　教授  林　　直樹 |
| ３ | 6/22（水） | スキゾタイパル・パーソナリティ障害 | 聖みどり病院　副院長  喜多　洋平 |
| ４ | 6/29（水） | 気分障害とパーソナリティ障害 | 国際医療福祉大学三田病院精神科　教授  平島　奈津子 |
| 5 | 7/6（水） | 社会文化的視点からみた現代の人格傾向 | 筑波大学医学医療系社会精神保健学　教授  斎藤　　環 |

**講義時間**：毎週水曜日、午後６時３０分～８時（90分）

**受講料**：１０,０００円（税込み）

**定　員**：４５名（定員になり次第締切りますのでホームページなどでご確認ください）

**受講対象**：精神保健の領域で、治療・教育・相談・指導等に携わっている専門家の方々、ならびに大学生・大学院生など本テーマに関心のある方、企業・学校・地域社会のメンタルヘルス関係者

**会　場**：明治安田こころの健康財団　講義室

　　　　　東京都豊島区高田3-19-10　　　ＴＥＬ 03-3986-7021

　　　　　　　（ＪＲ山手線、西武新宿線、東京メトロ東西線「高田馬場駅」下車徒歩約7分）

現代の精神医学は急速な勢いで大きな変貌を遂げつつある。ひとつは、ＤＳＭ‐Ⅲが出て３５年になり科学性の色合いがいよいよ濃くなったことである。もうひとつは、現代人の人格傾向の変貌を基にして精神医学的病態もまた変容していることだ。しばらくは、パーソナリティ障害と云えば境界性パーソナリティ障害であったが、自傷、薬物依存を前面に出したスキゾタイパル・パーソナリティ障害（スキゾイドを基盤にした障害）が急増しているかの感がある。うつ病、双極性障害の診断ケースもパーソナリティ障害を考慮に入れないと理解も治療を進まなくなっている。急速に私たちの前に姿を現し始めた２１世紀の文化という視点からパーソナリティ障害を考えてよい時期を迎えているのではないか。

以上を踏まえて、今年度は、21世紀の精神医学とパーソナリティ障害をめぐる問題を整理し、適切な接近を可能にする方向の講座にしたいと思っている。

【三田精神療法研究所所長　牛島　定信】

**※事例を扱う関係から、守秘義務を守れる方に限定します。**

【三田精神療法研究所所長　牛島　定信】